

いのち

# 生命のにぎわい調査団

いのち

# 生命のにぎわい通信

第14号：発行日平成22年（2010年）11月

発行：千葉県環境生活部自然保護課  
生物多様性戦略推進室  
生物多様性センター  
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2  
(千葉県立中央博物館内)  
TEL 043-265-3601 FAX 043-265-3615  
URL <http://www.bdcchiba.jp/monitor/>  
E-mail [monitor@bdcchiba.jp](mailto:monitor@bdcchiba.jp)

## 三番瀬のミヤコドリ(シギ/チドリの仲間)を見てみよう

真っ黒な背中に、赤い嘴、白いお腹の派手な色彩をした、大きさがカラスくらいの渡り鳥です。過去には、国内でも沢山のミヤコドリがいましたが、数が減ってしまいました。現在でも、砂浜を走る車にはねられたり、送電線にぶつかり命を落としており、飛来地も限られています。船橋市潮見町地先の三番瀬では2010年10月11日に234羽が確認されました。全国では飛来が少なくなったミヤコドリが、うれしいことに千葉県では徐々に数が増えているようですね。  
千葉県立中央博物館 桑原和之



特徴：頭部から背中が黒く、お腹側は白い。  
クチバシが特に目立ちニンジンの様な色と形  
足とクチバシ、目は真っ赤でよく目立つ



## COP10 国連地球生きもの会議に参加して

国連の定めた国際生物多様性年の今年10月、愛知県名古屋市において、生物多様性条約を結んだ193か国（参加179国、13,000人以上）が集まり、生物多様性の損失を止めるため、どのような取り組みをいつまでに行なわなくてはならないかが話し合われ、今後のルールと目標が無事に採択されました。

### 「名古屋議定書」 遺伝資源へのアクセスと利益の配分についての国際ルール

遺伝資源（生物資源）の利用国が、原産国の動植物や微生物を利用して薬や食品などを開発する場合には、利益配分について個別に契約する、共同研究、持ち出し等をチェックする。

### 「愛知目標」 2011年以降の戦略目標/生態系保全のための世界目標

2020年までに生態系が強靱で基礎的なサービスを提供できるよう、生物多様性の損失を止めるために、実効的かつ緊急の行動を起こす。

20の目標：保護地域は陸域17%、海域10%を目指す。過剰な漁獲はやめる。農林業が持続可能に管理される。外来種は制御根絶へ。絶滅危惧種の絶滅を防止する。等

千葉県の取り組み 企画展、巡回展、企業セミナーを県内で実施するとともに、

COP10会期中には、交流フェアに出展し、全国のいきものみっけシンポジウム、NORNACで発表、国際自治体会議等に参加しました。

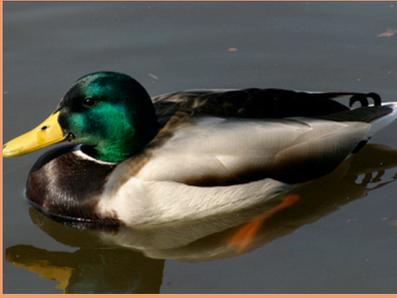


最新の生物多様性に関する情報、各種講習会の情報は、調査団のホームページをご覧ください

「調査団」 <http://www.bdcchiba.jp/monitor/index.html> と 「生物多様性センター」 <http://www.bdcchiba.jp/>

# 代表的なカモのオス早見表 (淡水ガモ)

団員 a0512 さんの写真



マガモ 青首、クチバシが黄色



ハシビロガモ クチバシが平たい



オナガガモ クチバシが水色で胸が白



ヨシガモ (B) ノドが白く黒い首輪



コガモ 頭がチョコ色に緑のライン



トモエガモ (B) 顔に巴模様



オカヨシガモ (C) 全身灰色でお尻が黒



ヒドリガモ 赤茶の頭に額がクリーム



オシドリ (B) 全身橙色で顔が白

カモの仲間は、冬鳥として渡ってきてから12月までは「エクリプス」と呼ばれる地味な羽色をしています。頭部から徐々に換羽し、その種の特徴があらわれてきます。頭部やクチバシの色、胸部の模様で見分けます。トモエガモは、千葉県RDBではカテゴリーB重要保護生物、環境省RDBで絶滅危惧II類に指定されています。

## いきものみつけシンポジウムに参加しました

22年10月23日 (土) 名古屋市立科学館

環境省がCOP10会期中に開催した「いきものみつけシンポジウム」(市民参加による情報集約型調査: 地方公共団体や学校、博物館等による生物調査)において、「生命のにぎわい調査団」の取り組みと情報の活用方法などについて、事例紹介してきました。

「千葉県における県民参加型の生物モニタリング調査」 使用した説明資料が見られます。

(参考)いきものみつけシンポジウム開催結果: 環境省生物多様性センター

[http://www.mikke.go.jp/fun/topics/2010/post\\_114.html](http://www.mikke.go.jp/fun/topics/2010/post_114.html)

## 今年度第2回現地研修会

(調査団員限定) を開催します

平成22年12月11日 (土)

房総のむら、坂田ヶ池総合公園

初冬の里山の生きものを知ろう

\*別紙「現地研修会の案内」をご覧の上、参加申込をお待ちしています。



調査技術を高めるために  
生物多様性情報の双方向交流

調査団HP 報告更新、写真投稿

団通信 年5回送付

現地研修会 年2回

調査フォーラム

問い合わせメール

